

2022年コレクション展Ⅱ 2022年7月30日（土） - 12月18日（日）

前期：7月30日（土） - 9月25日（日） 後期：10月8日（土） - 12月18日（日）

◇展示替え期間中（9月26日 - 10月7日）は常設展示室を閉室します。

◇【小企画】「美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかたち」は前期のみ。

兵庫県立美術館のコレクション展では、1年をⅠ期とⅡ期に分け、特定のテーマに沿って当館の収蔵品を展示する「特集」、そして展示室の1室を使った「小企画」を開催しています。2022年コレクション展Ⅱの特集展示は、昨年度新たに収蔵された作品を紹介する「特集1 リ・フレッシューズ」、そして具体美術協会を率いた吉原治良の作品、資料群を展示する「特集2 没後50年 吉原治良の小宇宙（マイクロコスモス）」との二本立てで構成します。会期の前半には、毎年恒例の手で触れて作品を鑑賞できる小企画「美術の中のかたち」展も開催します。

展示構成：【特集1】リ・フレッシューズ - 新収蔵品紹介展 [常設展示室 1・2・3（前後期） + 4（後期）]

【特集2】没後50年 吉原治良の小宇宙（マイクロコスモス） [常設展示室 6]

【小企画】美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかたち [常設展示室 4（前期）]

近現代の彫刻 [常設展示室 5]

小磯良平記念室

金山平三記念室



① 小林孝巨《Sunbather 9》2004年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
©Takanobu Kobayashi

特集1 | リ・フレッシューズ - 新収蔵品紹介展

Re: Freshers — New Acquisitions

【章構成】

パート1 リフレイン (refrain) - くり返しのリズム

パート2 リフレクト (reflect) - 映し出されているものは、何？

パート3 リフレッシュ (refresh) - 未来へのまなざし

特集2 | 没後50年 吉原治良の小宇宙（マイクロコスモス）

Microcosmos of Yoshihara Jiro

【関連イベント】

<学芸員による解説会>

【特集1】9月24日（土）、10月29日（土）、11月26日（土）

【特集2】8月27日（土）、12月3日（土）

いずれも午後3時から（約45分）、当館レクチャールームにて（定員50名）聴講無料・先着順

<こどものイベント>

詳しくは当館 web サイトをご覧ください。

小企画 | 美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかたち

【関連イベント】

ワークショップ：手でみる身体 ～音の門 耳をかたちづくる・掌の空間～

内容：身体に触れながら、造形を粘土で試みます。（※粘土と道具はご用意します。）

講師：武末 裕子 氏（山梨大学准教授）・古屋 祥子 氏（山梨県立大学准教授）

日時：8月21日（日）午後1時30分 - 午後3時00分（予定） ※開場は30分前から

会場：兵庫県立美術館 アトリエ2

最新情報は当館 web サイトをご覧ください。



エミール=アントワーヌ=ブールデル《アダムの手》1889年

【特集1】「リ・フレッシューズ－新収蔵品紹介展」の展示構成 [常設展示室1・2・3(前後期) + 4(後期)]

当館のコレクションの多くは寄贈によるものです。昨年度(令和3年度)も公益財団法人伊藤文化財団や作家ご本人、篤志家の方々から、数多くの作品を当館にご寄贈いただきました。特に今回は、大和卓司氏から多くの作品をご遺贈いただき、従来の当館のコレクションには見られなかった性格の作品たちがやってきました。美術館に新鮮味を与えるという意味も込めて、今回これらの新収蔵作品を「リ・フレッシューズ」と呼ぶことにしました。本展では、3つのキーワードを手掛かりに我らが県美のフレッシュな仲間たちを紹介します。

パート1 リフレイン (refrain) – くり返しのリズム

今回新たに収蔵された作品には、「反復、くり返し」が作品の大きな要素となっているものが多くあります。同じモチーフが連続して表されたり、ある行為を反復することによって完成された作品であったりと、その在り方は様々です。ここでは、そんなくり返し(リフレイン)によるリズムを感じられる作品を集めます。



① 鄭相和《無題 84-8-15》1984年
令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈



② 鄭相和《無題 84-12-5》1984年
令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈



③ 中村一美《仙丈Ⅱ》1987年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
©Kazumi Nakamura

パート2 リフレクト (reflect) – 映し出されているものは、何？

作品には、得てして創造者のさまざまなものが投影されています。鏡に映った自分の像を画面に落とし込んだ作品もあれば、作家の個人的な経験を反映した内省的な作品もあります。このパートでは、作中に映し出されたイメージに焦点を当て、作品を読み解いていきます。



④ 郭徳俊《カーターと郭》1977年
令和3年度作者寄贈



⑤ 青木千絵《BODY 10-1》2010年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
展示風景：「美術の中のかたち」展 兵庫県立美術館
2017年(撮影：高嶋清俊)



⑥ 谷原菜摘子《創世記》2021年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵

パート3 リフレッシュ (refresh) – 未来へのまなざし

喜ばしいことに、これまで当館が所蔵していなかった兵庫ゆかりの作家や新進の若手作家の作品、そして過去に当館での特別展や小企画展に出品された作品も、この度収集の機会を得ることができました。美術館のコレクションを新たに特色づけるこれらの新収蔵作品を紹介します。



⑥ 柳瀬安里《線を引く》2015-16年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
©Anri Yanase



⑦ 棚田康司《たちのぼるー少年の場合》2012年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
©TANADA Koji
Courtesy of Mizuma Art Gallery
展示風景：棚田康司展「たちのぼる。」練馬区立美術館、2012（撮影：宮島径）

【特集2】「没後50年 吉原治良の小宇宙」 [常設展示室6]

今年没後50年を迎える吉原治良（1905-1972）の素描を中心とした多数の作品・資料を、令和2年度に公益財団法人伊藤文化財団から寄贈いただきました。今回はそれらの新収蔵品を中心に、従来コレクションもあわせて展示し、吉原の創作の秘密に迫ります。前期後期で素描作品の展示替えを行います。



⑧ 吉原治良《牧歌》1952年
昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈



⑨ 吉原治良《作品（二の字）》
1971年 昭和59年度購入



⑩ 吉原治良全身像ポートレート
(1965年60歳記念展の際に撮影)

【小企画】「美術の中のかたち—手で見る造形 彫刻の中のかたち」の見どころ [常設展示室 4 (前期のみ)]

兵庫県立美術館では、前身である兵庫県立近代美術館の時代である 1989 年より「美術の中のかたち—手で見る造形」と題する展覧会を継続的に開催してきました。「美術の中のかたち」は視覚に障がいがある人に鑑賞機会を提供すること、視覚を中心とした鑑賞の在り方を問い直すことを目的とし、視覚に障がいのある来館者に限定することなく、すべての来館者が手で触れる機会を提供するものです。

本年度は当館の彫刻収集第 1 号であるエミール=アントワーヌ・ブールデル《風の中のベートーヴェン》が、兵庫県立芸術文化センターより返却されます。そのため今年度の「美術の中のかたち」は、ブールデルによる彫刻作品の特集といたします。ブールデルが制作した全身像、胸像、部分的な人体像を触察により比較鑑賞していただくことにより、彼が制作に際し人体の形状をどのように把握し、アプローチしていたのかを豊かに感じていただけます。

また、ブールデルの他のフランス近代彫刻作品を展示し、それらとブールデルの彫刻とを比較することで、それぞれの作家の人体に対するアプローチの違いを理解できるような構成とします。



エミール=アントワーヌ・ブールデル
《アダムの手》1889 年
昭和 48 年度購入



エミール=アントワーヌ・ブールデル
《母と子》1893 年
平成 25 年度高瀬節子氏寄贈



① エミール=アントワーヌ・ブールデル
《風の中のベートーヴェン》1904-08 年

特集・小企画以外の展示

近現代の彫刻 [常設展示室 5]

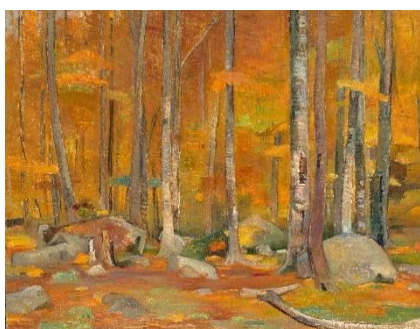
兵庫県立美術館では、近現代の彫刻はコレクションの主軸の一つです。昨年度の新収蔵品も交えながら、当館所蔵の豊かな彫刻の作品群を展示します。

小磯良平記念室

小磯良平（1903－1988）は神戸に生まれた洋画家で、人物画の名手として知られています。小磯は西洋絵画の技法研究に熱心に取り組み、そこを源泉としながら生涯にわたって自らの画風を変えていきました。本展では人物画を中心にしながら、それらと同時期に描かれた静物画や風景画と共に画風の変遷を辿ります。

金山平三記念室

神戸出身の金山平三（1883－1964）は、東北や北陸をはじめとして日本各地を旅しながら風景を描き続けた洋画家です。金山の絵画の魅力のひとつは、対象を巧みに表現する、しかし気負いのない筆触であるといえるでしょう。本展では、そのような筆触で自然の風景や人の営みを捉えた作品を展示します。また、「ミニアチュール」に括られる小さな作品群も合わせてご紹介いたします。



金山平三《ぶなの林》1945-56年
金山らく氏寄贈

開催情報

■ 開催情報

展覧会 2022年コレクション展Ⅱ

【特集1】リ・フレッシューズ—新収蔵品紹介展〔常設展示室1・2・3（前後期） +4（後期）〕

【特集2】「没後50年 吉原治良の小宇宙(マイクロコスモス)」〔常設展示室6〕

【小企画】「美術の中のかたち—手で見る造形 彫刻の中のかたち」〔常設展示室4（前期）〕

会 期 2022年7月30日（土）—12月18日（日）

前期：7月30日（土）—9月25日（日）、後期：10月8日（土）—12月18日（日）

◇展示替え期間中（9月26日—10月7日）は常設展示室を閉室します。

◇【小企画】「美術の中のかたち—手で見る造形 彫刻の中のかたち」は前期のみ。

休館日 毎週月曜日 ただし9月19日（月）・10月10日（月）は開館、9月20日（火）・10月11日（火）は休館

開館時間 午前10時から午後6時 ※入場は閉館の30分前まで

会 場 兵庫県立美術館 常設展示室（1階、2階）

主 催 兵庫県立美術館

協 賛 公益財団法人伊藤文化財団、 **サンシティタワー神戸**（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、
兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

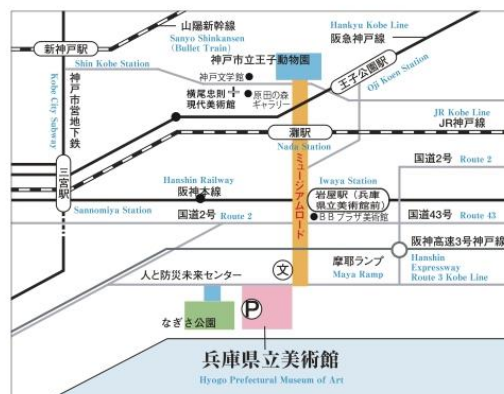
■ 観覧料 (2022年コレクション展Ⅱ全室共通)

券種/販売期間	当日券	団体料金	特別展とのセット料金
一般	500円	400円	300円
大学生	400円	300円	200円
高校生以下	無料	無料	無料
70歳以上	250円	200円	150円
障がいのある方（一般）	100円	100円	50円
障がいのある方（大学生）	100円	50円	50円

- ◆（ ）内は20名以上の団体料金、〔 〕内は特別展とのセット料金
- ◆障がいのある方1名につき、その介護の方1名は無料
ただし「美術の中のかたち」展開期中（前期）は障がいのある方も無料
- ◆一般以外の料金には証明できるものご提示が必要です。
- ◆毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料となります。
- ◆団体（20名以上）でご鑑賞いただく場合は事前のご連絡をお願いします。

■ 交通案内

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から徒歩10分
- ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
- ・JR三宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）






「2022年コレクション展Ⅱ」 広報画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903

兵庫県立美術館 企画・広報担当 宛

ご希望画像にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。
申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<input type="checkbox"/>  ① 小林孝巨《Sunbather 9》 2004年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵 ©Takanobu Kobayashi	<input type="checkbox"/>  ② 中村一美《仙丈Ⅱ》1987年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵 ©Kazumi Nakamura	<input type="checkbox"/>  ③ 郭徳俊《カーターと郭》1977年 令和3年度 作者寄贈	<input type="checkbox"/>  ④ 青木千絵《BODY 10-1》 2010年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
<input type="checkbox"/>  ⑤ 谷原菜摘子《創世記》 2021年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵	<input type="checkbox"/>  ⑥ 柳瀬安里《線を引く》 2015-16年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵 ©Anri Yanase	<input type="checkbox"/>  ⑦ 棚田康司《たちのぼるー少年の場合》 2012年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵 ©TANADA Koji	<input type="checkbox"/>  ⑧ 吉原治良《牧歌》1952年 昭和60年度 財団法人伊藤文化財団寄贈
<input type="checkbox"/>  ⑨ 吉原治良《作品（二の字）》 1971年 昭和59年度購入	<input type="checkbox"/>  ⑩ 吉原治良全身像ポートレート (1965年60歳記念展の際に撮影)	<input type="checkbox"/>  ⑪ エミール=アントワーン=ブルデル 《風の中のペーターヴェン》 1904-08年	

● 貴媒体の情報をご記入ください。

- 媒体名(番組・雑誌名等) _____
- 媒体種: 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他() _____
- 掲載・放送予定日: _____ ○参考 URL _____
- 原稿確認予定日: _____
- ※WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。: コピーガード対応 可・不可 _____

● 申請者の情報をご記入ください。

- 貴社名: _____
- 所在地: 〒 _____
- ご担当者名: _____
- メールアドレス: _____
- 電話番号: _____

● 読者・視聴者プレゼント用招待券: 組 名分を希望

※(最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです)

【 画像使用に際しての注意事項 】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
- ▼参考
「作家名」 小林孝巨
「作品名」「制作年」等
《Sunbather 9》2004年
令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵
「クレジット」 ©Takanobu Kobayashi
- 作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せなど)はできません。
- 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載媒体を1~2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)を「企画・広報担当」宛にお送りください。
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、取材希望日の**3営業日前まで**にメールまたはFAXにてお申し込みください。

メール送付先 : press@artm.pref.hyogo.jp

FAX送付先 : 078-262-0903

お申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

<< 取材内容 >>

希望日時	第1希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分	
	第2希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分	
	第3希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分	
希望場所										
企画内容										
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり	スチール	台	ムービー	台	三脚・脚立	台			
	<input type="checkbox"/> なし									
取材人数	_____ 人									
取材時の代表者名										
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> その他 (_____)									
媒体名										
掲載・放送予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日 (曜)	時	分				
	<input type="checkbox"/> 放送	年	月	日 (曜)	時	分				

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-Mail	

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に 原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録 (DVD、CD) をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 企画・広報担当 (政岡・東原・成松)
 〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL : 078-262-0905 FAX : 078-262-0903 Mail : press@artm.pref.hyogo.jp